

事業名	アンコールワット国際ハーフマラソン(AWHM)後援
事業分類	国内外におけるスポーツ大会、イベントの運営協力事業
<p>活動概要</p> <p>大会趣旨:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界に向かって「非人道的な対人地雷の使用禁止」を訴える。 ・大会エントリー費用は義手義足支援と、地雷被災者の社会復帰・自立を支援するとともに、青少年エイズ予防支援活動などに使用。 ・健常者だけでなく、障がい者も、共に走ることを通じて、勇気と希望を与える。 ・カンボジアに対する世界各国からの支援に対し、感謝と元気なカンボジアをアピールする。  <p>テーマ: “Building a better future – Aid for children and disabled people in Cambodia”</p> <p>主催: カンボジア観光省、カンボジアオリンピック委員会(NOCC)、カンボジア陸上競技連盟(KAAF)</p> <p>運営: アンコールワット国際ハーフマラソン組織委員会・実行委員会、Cambodia Events Organizer Co., Ltd.(CE) ハート・オブ・ゴールドは後援。</p> <p>日時: 2015年12月6日(日) 午前6時30分スタート</p> <p>種目: ハーフマラソン(男女/車椅子男女)、10kmロードレース(男女/義足男女/義手男女)、3kmファン・ラン(オープン)</p> <p>コース: アンコール遺跡周回特設コース(AIMS公認)</p> <p>プレ・イベント: ・【コースチェック(12/5)】運営:CE ・【前夜祭(12/5)】運営:観光省、CE</p> <p>参加者: 8,539人、75の国と地域 ※参加者過去最高。</p> <p>チャリティ: ・本年度:US\$26,400(カンボジア赤十字、カンボジア・トラスト、ハンディキャップ・インターナショナル、カンボジア障がい者陸連、アンコール小児病院、カンター・ボパー小児病院、HG)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回大会(1996)から第19回大会(2014)までの合計寄付金額:US\$339,844。 ・本第20回大会のハート・オブ・ゴールドへの寄付金は合計US\$8,400(内訳:NCOCにUS\$2,000、障がい者支援にUS\$2,400、体育教育にUS\$2,000、自立支援にUS\$2,000)  <p>特記事項:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 有森代表は1996年の第1回大会から参加し、HGは1998年から特別運営協力を行ってきた。第18回大会を迎えた2013年にカンボジア側に広報、準備、資金調達、会計、運営を全面移譲した。本大会はカンボジア人の手による3回目の大会となり、マラソンコース、給水、ボランティア、警備等を含め、問題なく運営され、有森代表もカンボジア側の運営技術の向上を心から喜んでいた。 ● 本第20回大会には、北京パラリンピックの走り幅跳びの銀メダリスト、山本篤選手が10kmロードレースに参加し、義足ランナーの部で優勝した。 ● 日本からHGのスタディツアーとして有森代表をはじめ、54名が12月3日からカンボジアを訪れ、歓迎パーティ、エイズ撲滅の願いを込めたウォーキングイベント、NCCC(ニュー・チャイルド・ケア・センター)訪問、ランニングクリニックや小学校体育科教育普及事業の一貫として実施しているワットチョーク小学校での運動会視察、アンコールワット国際ハーフマラソン等に5日間・6日間コースに分かれて参加した。 ● 有森賞(かすみがうらマラソンへの招待、2016/4/17開催):21km男子11位 Phan Sopheakと義足10km男子2位 Chan Samayの2名が選考された。 ● 有森代表は、AWHM20回大会の本年、モニサラポン・マハ・セレイワット勲章を受章した。 <p>支援・協力団体 吹田中ノ島チャリティラン、かすみがうらマラソン、(株)RIGHTS、JTB 中国四国岡山支店、タイヨー薬局、兵庫県高校陸上合宿有志</p>	